

令和版「守・破・離」考 —自治力向上のために—

教頭 祝 利久

職員室の教頭席からは、来室する生徒の姿がよく見えます。朝は7時頃から「失礼します。〇年〇組の〇〇です。教室のカギを借りに来ました。」と一礼して入室。所定位置からカギを取ると、また一礼しながら「失礼しました。」と言って教室へ向かいます。職員室中央付近にいる職員は「はい、どうぞ。よろしく。」などと声を掛けます。これだけでも清々しく、スムーズな朝のやり取りですが、時折、職員室全体に気持ちを込めて、「先生方、おはようございます!」と加えてくれる生徒がいます。姿勢のよい一礼とやわらかな表情が印象的です。日中の休み時間も課題の提出や先生への要件などで職員室を訪れる生徒は多く、「失礼します。〇〇先生に用事があって来ました。」の表現で十分なところ、「〇〇先生に用事があって参りました。」とスマートな言葉遣いのできる生徒がいて、こちら引き締まった心持ちになります。小・中学校、そして高校での新入生研修などで、これらのマナー指導を受けてきた成果ではあるでしょうが、それを身に付け、自分の言葉・態度として自然に表現できているところにすばらしさ・頼もしさを感じるのです。

「守・破・離」—これは物事を習得する段階を三つに分けた言葉で、もともと茶道や芸術、武道などの教えから生まれたものです。「守」とは、師匠(先生)の教えを正確かつ忠実に“守り”、確実に“身に付ける”ことで、最も大切な“学びの基本(型)”です。「破」とは、それまでに身に付けた技術や型をさらに洗練させ、“自己の個性”を編み出していく段階です。ただし「破」は決して破壊ではありません。「離」とは、さらに鍛練を重ね、自らの新しい道を確認する最終段階です。過去の型からも、師匠(先生)からも独立し、“自己のスタイル”を得ることになります。が、ここで古人は「離るとても“本”を忘るな」と戒めの一句を付け加えています。

ちょっと、古典講義のようになりましたが、『令和版の学校・教育・生き方』を考える上でも十分応用できる言葉だと思うのです。平成までの学校が、知識を得て、それを正確に短時間で再現することに価値を置いていた(守)とするならば、令和からの学校は、得た知識や技能を使って、自ら立てた問いに向かって試行錯誤することに価値を置いています(破)。さらには、異なる考えを持つ他者との対話や協働などを通して“自分なりの学びのスタイル”の獲得をめざします(離)。そして、身に付けた力と態度で“自分らしく生きる・生き抜く”ということです。この場合も、「破」は破壊ではなく、“本”を知らない「離」であってはならないと思います。

西高生の多くが挑もうとしている大学入試も、単に知識を再現するだけで答えられる問題(守)は減っていて、さまざまな情報を受けとめ《自分が身に付けた知識・技能を使って》頭の中で結びつけたり切り離したりしながら答を出す問題(破・離)が増えています。これは学びにおける「守」の軽視なのではなく、むしろ、基本となる知識・技能が確実に定着し、使える状態になっていないと対応できない問題が増えたということだと、賢明な佐西生なら理解できるでしょう。

西高は「生徒の主体性」を活かし、生徒集団の「自治力」の向上をめざしています。自分たちに関することは自分たちの責任と判断で運営・対処していける力＝“自分たちスタイル(離)”の追求です。あいさつの話題から始めたこの文章ですが、高みを志す皆さんには、多方面における「守・破・離」に思いを致し、「守」から実践していったほしいと思います。

全国大会等出場 壮行式

6月24日(火)に、令和7年度全国高校野球選手権大会長崎県予選及び全国高校総合体育大会(ハンドボール)、全国高校総合文化祭(放送・吹奏楽・将棋)、NHK杯全国高等学校放送コンテスト出場、7月11日(金)に、第69回九州吹奏楽長崎県予選、第80回九州合唱コンクール長崎県大会及び、NHK 全国学校音楽コンクール長崎県コンクール出場の壮行式が行われました。全校生徒が一堂に会し、選手・部員の健闘を心から祈り激励しました。各部決意表明を行い、放送部は作品紹介、吹奏楽部・コーラス部は演奏曲を披露しました。



野球部(主将 2年6組 服部良大)



女子ハンドボール部(主将 3年1組 石田佳菜子)



放送部(部長 3年3組 福永瑛弥仁)



将棋(1年1組 坂口陽人)



吹奏楽部
(代表 3年3組 高浦愛莉乃)



吹奏楽部(部長 3年4組 前田歩実)



コーラス部(部長 3年2組 古川芽生)

生徒会役員選挙結果

7月10日(木)に、生徒会役員選挙を行いました。今年度は、生徒会長に2名、副会長に2名の立候補がありました。立候補者は、生徒の登校時に生徒玄関前でたすきをかけて挨拶を行ったり、お昼の校内放送に出演して公約を述べたりするなど、熱心に広報活動を行い、立会演説でも、それぞれが落ち着いた態度で、学校をよくしたいという熱意あふれる内容でした。投票の結果、以下のように決定しました。

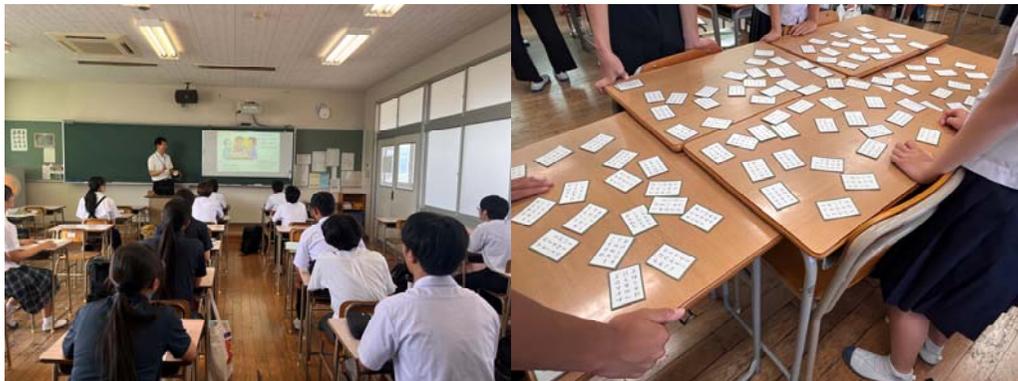
【会長】2年4組 中島 悠翔(なかじま ゆうと)

【副会長】1年6組 前田 樹璃(まえだ じゅり)、1年6組 久保 夢結(くぼ めい)

(生徒会指導部)

オープンスクール開催!

7月12日(土)に、本校の「第1回オープンスクール」を開催しました。今年度は地区内外あわせて36の中学校から、中学生387名、保護者207名の計594名の方々に来校していただきました。実施後のアンケートでは中学生や保護者の方々から「生徒の皆さんがとてもいきいきしていて、楽しそうな学校だなと感じました」「勉強できるスペースの確保や行事で主に生徒主体なのがいいと思いました」など、大変満足したとの声が多く得られました。



生徒会長の大山拓朗さんの挨拶から始まり、運動部・文化部代表によるメッセージでは、運動部代表として2年5組の前川幸太さん、文化部代表として2年2組の松口月愛さんが、在校生からのメッセージでは、実行委員の、1年6組の前田樹璃さん、2年1組の樋渡千奈さんが中学生や保護者に向けて心を込めたメッセージを送ってくれました。約80名の実行委員や、生徒会、放送部を中心に、企画、設営、運営を行い、西高の未来のために、生徒主体の素晴らしいオープンスクールを作り上げてくれました。

模擬授業では、本校職員の持ち味を活かした16種類の授業を実施しました。参加された皆さんには、西高の雰囲気や授業の様子を実際に体験していただけたのではないかと思います。今回の体験が、今後の進路選択の参考になれば幸いです。

第2回オープンスクールは9月13日(土)、西高祭2日目に開催予定です。お近くに西高を希望している方がいらっしゃいましたら、ぜひ中学校を通じてお申し込みいただくようお願いいたします! (教務部)

校内競技大会 6/30(月)・7/1(火)

バレーボール男子	優勝 1年2組	準優勝 2年3組
バレーボール女子	優勝 1年1組	準優勝 2年4組
サッカー男子	優勝 3年6組	準優勝 3年3組
ドッジボール女子	優勝 3年1組	準優勝 3年2組
ポッチャ	優勝 3年4組女子	準優勝 1年1組男子
オセロ団体戦	優勝 3年4組男子	準優勝 2年5組男子
オセロ個人戦	優勝 3年6組 前田 健太	準優勝 2年1組 寺坂 紬



部活動結果報告

<陸上競技部> ○第79回国民スポーツ大会陸上競技長崎県予選会

男子少年B 100m	第3位 1年 吉村知将
女子少年B 100m	第1位 1年 山中陽愛
女子少年A 5000mW	第2位 2年 福田実和

<バドミントン部> ○令和7年度第22回佐世保地区高等学校選抜バドミントン選手権大会

男子 ダブルス	第3位 2年 堤悠翔、1年 黒木響介ペア
シングルス	第3位 2年 堤悠翔
女子 ダブルス	第2位 1年 松尾彩聖、平野希歩ペア
シングルス	第3位 1年 松尾彩聖

<コーラス部>

○第28回長崎県合唱フェスティバル・第80回九州合唱コンクール長崎県大会
金賞 (九州合唱コンクール大分大会出場決定)

<その他>

- 令和7年度長崎県高等学校総合文化祭総合開会式
生徒実行委員会委員長 2年 松尾煌大、生徒実行委員会副委員長 2年 角田結衣
- 第75回社会を明るくする運動佐世保地区中学・高校生弁論大会
高校生の部 優秀賞 1年 安永七菜

<<8月の主な行事予定>>

8/2	土	対外マーク模試(3年)
3	日	対外マーク模試(3年)
6	水	代休(8/9分)
9	土	平和学習(登校日)
10	日	学校閉庁期間(~15日まで)
16	土	大学別模試①・三校合同九大プレテスト(3年)
20	水	夏季講座(3年)(~25日まで)
23	土	GTEC(3年)
25	月	登校自学(1・2年)
26	火	授業再開日・夏季実力テスト(1・2年)・全校集会等
27	水	夏季実力テスト(2年)

